

ココロン・カフェ☆スペシャルにおけるシンポジウムについて

(1) 講演

『障害を理由とする差別の解消を推進するための条例の検討状況について』 <30分>

仙台市障害者施策推進協議会会長／東北福祉大学教授 阿部 一彦 氏

(2) パネルディスカッション

『サービス提供や教育等における取り組みから差別解消について考える』 <80分>

<コーディネーター> 阿部 一彦 氏

<パネリスト>

※お話しいただく順番は以下のとおりでお願いできればと存じます。

①教育現場における取り組み

仙台市立蒲町小学校 校長 仲野 繁俊 氏

- ・ 学校教育における障害理解促進の取り組みの現状（授業や体験活動等）
- ・ 個別の教育支援計画に基づく関係機関との連携による支援 など

②地域における取り組み

特定非営利活動法人アフタースクールぱるけ 代表理事 谷津 尚美 氏

- ・ 紙芝居による地域での障害理解促進の現状（発達障害）
- ・ 障害の有無にかかわらず放課後の居場所づくり
- ・ 地域におけるネットワークづくり（地域でのイベント開催） など

③雇用現場における取り組み

株式会社 清月記 商品管理部課長 日下部 直憲 氏

- ・ 障害者雇用の現状
- ・ 障害者への配慮等について（間違いにくい作業工程の組み立てなど）
- ・ 雇用に伴う企業としてのメリット など

④当事者による取り組み

AMA（仙台長町店）／認定NPO法人ビートスイッチ 古川 真由美 氏

- ・ 高次脳機能障害当事者としての生活のしづらさなど
- ・ 障害理解促進や差別解消について考えること（働くことで障害理解を促進）
- ・ 当事者として取り組み（当事者発信、当事者による相談支援の研究会など）
- ・ 今後取り組みたいこと など

⑤サービス提供分野における取り組み

宮城県ホテル旅館生活衛生同業組合 理事長 佐藤 勘三郎 氏

- ・ ホテルや旅館における障害者への配慮等の現状
- ・ 差別解消法及び差別解消条例施行を見据えたホテル旅館業界さらには企業全体として今後取り組むべき障害者への配慮等に係る展望 など